発行日　令和7年　11月1日(通算第226号)

上天草市上天草総合病院通信

あこう

No.3

当院の心リハの取り組みを高く評価

～全国国保地域医療学会で最優秀研究受賞！～

上天草総合病院では、超高齢化の進む上天草地域において、「心不全患者の再入院を減らすこと」を目標に、脇田病院長を中心とし、看護師・理学療法士・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・社会福祉士・事務など多職種が一体となった心臓リハビリテーションチームによる取り組みを行ってきました。

この活動をまとめた、研究発表「心不全患者に対する多職種による包括的介入が再入院率を低下させた」が、昨年岩手県にて開催された第64回全国国保地域医療学会で発表され、全246題の中から最優秀研究に選出。今年の10月3日に和歌山県で開催された第65回の同学会にて表彰されました。

高齢化が全国より20年も先行すると言われる上天草地域では、心不全を抱える高齢者が増加し、再入院を繰り返すケースが多く見られていました。そこで当院では、2009年に心臓リハビリテーションチームを発足。入院中のリハビリだけでなく、退院前のカンファレンスや自宅での生活支援にも力を入れ、患者さんとご家族が安心して生活できる仕組みを築いてきました。

チームでは、病状の説明や内服管理、栄養相談、運動指導などを一体的に行い、退院後も外来・訪問看護・介護施設と連携して継続的にサポートします。その結果、以前は6か月以内に33％の方が再入院していたのに対し、現在はおよそ15％まで低下。患者さんの生活の質を大きく改善する成果を上げています。

また、当院では「心不全療養指導士」の資格を有する職員も4名在籍し、地域全体で心不全を予防・管理するための講演会や勉強会も積極的に開催しています。こうした取り組みが研究発表として評価され、今回の最優秀研究受賞につながりました。

上天草総合病院はこれからも、多職種が力を合わせたチーム医療と地域連携を通じて、高齢化社会でも安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。そして地域の皆さま一人ひとりが、住み慣れた場所で自分らしく生活を続けられるよう、医療と介護、そして地域全体が手を取り合う仕組みづくりを目指してまいります。今回の受賞を励みに、今後も地域の健康と笑顔を守る病院として、職員一同、より一層の努力を重ねて参ります。(総務課　村山)

受賞は関わったメンバー全員の誇りです

新入職員奮闘記

緒方 佑基（おがた ゆうき）　令和7年4月1日採用（総務課配属）

総務課の緒方です。主に人事給与係として職員の勤怠管理等の業務を担当しています。入社して半年が経ち、現在は業務の基礎をしっかり固めることを第一に取り組んでいます。

まだ、経験が浅いため難しいことに直面することも多く、これまでの経験を仕事に活かせていない部分もありますが、焦らず一つひとつの業務を着実にこなしていくことを大切にしています。周囲の方々の支えに感謝しながら、日々努力を重ねています。

趣味は、ドライブと車を整備したり手を加えたりすることです。休日には、気分転換もかねて景色のきれいな場所を選び、のんびりと車を走らせる時間を楽しんでいます。運転中は、静かな環境の中で気持ちが整理されたり、新しい発想が浮かんでくることもあり、貴重なリフレッシュの時間になっています。また、車に関しては、使いやすさや見た目を少しずつ工夫するのが楽しみで、自分なりにメンテナンスしながら、長く大切に乗るようにしています。

今後も仕事の質を高めることを最優先に、一歩ずつ着実に成長していきたいと考えています。地域の皆さまに信頼され、親しまれる医療機関を目指して、これからも努力を続けてまいります。どんな小さなことでも、お気軽にご相談ください。

病院豆知識

肝疾患コーディネーターを知っていますか？

当院には肝疾患コーディネーターという資格を持った職員がいます。看護師、臨床検査技師、診療情報管理士、社会福祉士など様々な職種が持っています。肝臓に関わる疾患（肝疾患）の病態、治療、それに関わる医療制度の知識を持ち、肝疾患に対する啓発活動を行う事を目的として熊本県知事から任命されたのが肝疾患コーディネーターとなります。肝疾患の「予防」「受検」「受診」「受療」「フォローアップ」を連携して行うこと、地域や職域で正しい知識を広げ肝疾患への偏見や差別の解消をすることが期待されています。

当院には肝疾患コーディネーターが在籍する肝炎対策チームがあり、月1回会議を行い、病院内でのウイルス性肝炎の情報共有を行い患者さんのサポートを行っています。またポスターの掲示や病院内外の啓発イベントへの参加を行っています。肝疾患は放置すると肝臓がんへと進行してしまう病気です。早期発見、早期治療が重要となります。治療法も進歩しており、特にC型肝炎は治すことが可能な時代となりました。お困りごとや気になることがある際には是非ご相談ください。

(臨床検査科　富田)

おしらせ

◆がんサロン
毎月第3木曜日 13:30～ 当院6階講堂

◆心臓リハビリテーション教室
毎月第4金曜日 13:30～ 当院6階講堂

*日程変更がある場合があります
興味のある方はお問い合わせください

編集後記

紅葉がきれいな季節となりましたが、年々秋が短くなっているように感じます。子をもつ親として、季節の移り変わり目は昼夜の寒暖差が大きく、子供が風邪にかかりやすいです。なので外出後は、手洗い・うがい・足洗を必ず行っています。（T）

上天草市立上天草総合病院
住所：866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
電話：0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)
URL：http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/
Eメール：kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp
発行：上天草市立上天草総合病院広報委員会

※上天草市立上天草総合病院あこうは、病院の窓口に置いてありますので、ご自由にお取りください。

もしものときも安心

災害時の利便性 実証される
～くまもとメディカルネットワークに参加しませんか？～

あなたは、病院で診察を受けるとき、「自分が飲んでいる薬の情報や病名などがきちんと医師や看護師に伝わっているかな」と不安に思ったことはありませんか？

そんなときに役立つのが「くまもとメディカルネットワーク」です。

このネットワークは、熊本県内の医療機関や介護施設等が、患者さんの診療やお薬、介護の情報を安全に共有し、より良い医療・介護サービスにつなげる仕組みです。運営しているのは熊本県医師会で、信頼性の高い熊本県全体の医療連携システムです。

たとえば、A病院で行った検査をB病院でも同じ検査を繰り返してしまう「重複検査」や、似た薬を二重に処方される「重複投薬」などを防ぐことができます。また、アレルギーや服薬情報を共有できるため、より安全な診療を受けることができます。さらに、災害時にもこのネットワークは力を発揮します。

実際、今年8月に上天草市で発生した豪雨災害では、お薬手帳や保険証が流された方が初めて当院を受診。このネットワークを通じて、お薬手帳などの情報を確認できたことでスムーズに普段通りの治療を続けることができました。

このネットワークに参加するには「同意書」の提出が必要です。見せてもよいと思う施設名を自分で選べるので、プライバシーも守られます。もちろん、参加費用は無料。上天草市では現在20施設が加入しており、当院もその一つです。

くまもとメディカルネットワークは、あなたとご家族を守る“安心の架け橋”です。もしものときに備えて、ぜひこの機会にご参加ください。ご参加希望の際は、当院受付窓口までお声掛けください。

詳しくは、熊本県医師会「くまもとメディカルネットワーク」ホームページ、または当院受付窓口までどうぞ。

(情報管理室　森口)

いつでもご相談ください

くまもとメディカルネットワーク
ＱＲコード→

きららの里便り　敬老会　～笑顔と笑い声あふれる、心温まるひととき～

9月15日、利用者の皆さまの長寿をお祝いする「敬老会」を開催いたしました。昼食には、管理栄養士と調理スタッフが心を込めた敬老会特別弁当を提供。ご利用者の皆さまからは「豪華で嬉しい！」との声があがりました。

式典では、参加された皆さんに記念品を贈呈し、職員一同より感謝の気持ちをお伝えしたところ、思わず涙ぐまれる方もいらっしゃり、会場全体があたたかな雰囲気に包まれました。

式典のあとは、みんなで楽しめる「頭の体操」のレクリエーションです。なぞなぞや言葉遊び、昭和の流行語クイズなどに挑戦し、和気あいあいとした時間となりました。また、毎年恒例の「カラオケタイム」では、懐かしの名曲や思い出の歌を披露していただき、手拍子と拍手がホールに響き渡り、自然と歌を口ずさむ方も多く見られました。

これからも、ご利用者の方々が安心して楽しく毎日を過ごせるよう、スタッフ一同、心を込めて支援してまいります。

マダニによる感染症にご注意を

和田 正文 副院長

イベントで
ダニ音頭を披露

私は、マダニのフィールド調査や研究、診断治療に取り組んでいます。みなさんは野山にいるマダニに刺されることで発病する感染症をご存知ですか？天草は多発地域で、細菌による「日本紅斑熱」とウイルスによる「SFTS(重症熱性血小板減少症候群)」の2つの病気があり、当院にも多くの患者さんが来院されます。日本紅斑熱は発熱と紅斑、SFTSは発熱と様々な症状を引き起こし、どちらも死亡する可能性がある病気です。マダニに刺されたといって発病するわけではなく、病原体をもったマダニに刺された場合発病します。国立感染症研究所・森林総合研究所の先生方と天草島内のマダニ調査(マダニ種や、性別、病原体保有率など)や、マダニに刺され来院される方の調査も行っています。農作業や草取り、野山に行った後に、発熱・だるさ・食欲低下がある場合は早期の診断・治療が大切ですので、早めに来院されてください。

ダニ採集も研究のためには欠かせない作業です

※第39回天草郡市医師会医学会にて和田副院長のマダニに関する発表が天草ヒポクラテス賞(最優秀賞)を受賞されました。

看護学校News　看護師としての自覚を胸に

10月17日に第49期生の宣誓式を行いました。以前は戴帽式としていましたが、看護師のナースキャップ廃止に伴い、4年前に宣誓式へと変わりました。自分たちで考えた誓いの言葉を述べ、ナイチンゲール誓詞を斉唱し、これからの目標を再確認する式典です。ろうそくの灯がとても神秘的で厳かな式典となりました。これから病院での実習も始まりますので、その際はよろしくお願いします。

入学試験のお知らせ

11月15日（土）に専願・一般Ａ入試を開催します。詳細はホームページをご覧ください。

※申込〆切は11/7(金)必着です

健康管理センター便り　健診後の要精密検査の判定をそのままにしていませんか？？

健診結果に「要精密・要治療」の判定が載っている人は、検査をした項目の結果が基準から外れています。「症状がないから病院は行かなくてもいいや」と思ってそのままにしておくと、大きな病気に繋がることも･･･。「たまたま数値が悪かったのか」それとも「病気のせいか」を知るためにも病院に行き、自分の身体を知りましょう。

早期発見・早期治療や、安心感に繋がりますよ。